

伊良波小学校 第 2 回コミュニティ・スクール協議会 報告書

1 開催日時 令和 8 年 7 月 1 6 日（木） 1 8 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0

2 場 所 伊良波小学校 図書室

3 参 加 者 真玉橋 信克、山崎 新、當銘 章一、平田 清美
大城 雅弘、安谷屋 富士子、宮城 綾乃、城間 まなみ
田嶋 文彦、渡名喜 信、我那覇 達希

4 会議内容

(1) 今回の会議の主なテーマ

学校・保護者・地域と連携した子どもの居場所づくりのためにできることを考えよう

(2) 話し合いの内容

- ① 学校長あいさつ
- ② 1 学期前半のまとめ
- ③ 周年事業について
- ④ 夏休み以降の地域連携
- ⑤ 意見交換

(3) 決定事項、役割分担、今後の方向性（学校運営への反映に向けて）等

【児童支援部会】

◇40th 記念事業に向けて、4～6 年児童を対象に「みんなでやりたいこと」アンケートを実施した結果 1 6 5 件の回答があり、その人気ランキングにおいて「学校かくれんぼ」（テレビ番組）が要望のトップである。ダメ元で応募をしてみても良いのではないか。

今回の一次資料をベースに実現可能性（予算、安全面、準備の手間など）を踏まえた仕分けや人気上位項目を組み合わせた実施のプランの検討を進める予定。

◇同じく 40th 記念事業に向けて、校歌のリメイク取り直しを是非行いたい。機材等の手配は可能

候補日：①10／5・6、②9／28・29、③10／19・20

◇ハーリー発祥の地でもある豊見城で総合的な学習と絡め教材化し授業として取り組めないか。

【地域部会（伝統行事）】

地域と子どもをつなぐための取り組みについて話し合いをもった。

・読み聞かせについて

保護者だけでなく、地域のお年寄りの方の協力を得るための働きかけをすることで、地域と学校をつなぎ、地域からの協力を得やすい環境づくりにつながるのではないかな。

・米作りについて

伊良波小学校に田んぼを作りたい。場所、資材、手間、リスク等について検討した。想定していた場所はハブの発生のリスクがある。ハブの発生についてのリスクが回避できない限りは実現できない。まずは校内の花壇を使って米作りができないか試してみたい。

・綱作りについて

伊良波地区の伝統である綱作りを子どもたちにも伝えたい。綱作りがどのように行われ伝わっているか、地域の祭りにはどのような思いが込められているのか、作った綱を何に利用しているかなどについて、地域の方から話を聞き、交流する機会をつくりたい。また、綱作り体験を通して、地域の伝統文化や行事に親しみ、地域に誇りを持つ児童を育てていきたい。

そのために、今夏行われる地域の祭りから、情報収集をして、学校に取り入れていける具体的取り組みを検討していく。

【社会福祉部会】

◇1年生の空き教室やオープンスペース等を開放・利用して地域のお年寄り
と協働で昔遊び等ができないか、

◇子育てサロンの間口を広げいつ来校してもいいようにし、困りごとのある
保護者に寄り添い経験を生かした助言・アドバイスなど更に充実を図る。

(4) その他の事項